

# 可部カラスの会

第 71 号 2003.12.15

事務局 安佐北区可部五丁目 7-16

Tel(Fax)815-1833(新澤)

[kabekarasu@ma8.seikyou.ne.jp](mailto:kabekarasu@ma8.seikyou.ne.jp)(田中)

<http://ha8.seikyou.ne.jp/home/kabekarasu/>

## 可部カラスも参加した 太田川サミット

太田川流域 11 市町村長が 11 月 28 日にアステールプラザに集まって、平成 15 年度太田川流域首長会議“サミット”が開かれました。



今回は“可部カラスの会”をはじめ、太田川流域で活動している 21 の団体はじめて参加しました。秋葉市長が議長を努め、「住民主体の持続可能な川のふるさとづくり」について熱心に意見交換が行われ、上下流域住民で太田川を「つくる・守る・育てる」を三原則にした『新・太田川サミット宣言』が決議採択されました。

なお、この会議に新澤事務局長はグループの代表として、田中（加）・和田木さんがオブザーバーで参加しました。

## 動き始めた 旧道界隈のまちづくり

可部町旧道界隈の町内会が動き始めました。可部駅西口広場にどんな機能を持たせたらいいのか、そんな論議の中から「可部駅周辺の開発は、旧道と一緒に考えよう」との声が上がったのは自然の成り行きでしょう。

そうして旧道に居を構える町内会から声があがりました。「駅まわりだけ良うなっても、ええことにはならんじゃろう」「電車をおりた人が旧道にも流れることを考えようやあ」「よっしゃ、そんならわしらもちいと考えてみようか」

話はとんとん拍子、「いっぱい集まるんなら会則が必要じゃねえ」「役員呼び方は、面白いものにしようで」「とにかく年末じゃけえ、一杯飲んで元気をだそうやあ」

こんな具合で話は前へ進んでいるようです。でも旧街道の面影が失われつつある現在、何をどのようにするのか、関心のある方の意見も聞かせてほしいようです。

### 定例会じゃあ ごがあな話をしたんよ

11月26日(水) 参加者 9名

#### 報告事項

・三次市まちづくりセンターで「カラスのまちづくり」友広、新澤参加

・第二回可部線問題報告会(加計)で開催  
熱意が伝わってきた

・根の谷川自然観察と水質調査

春夏秋冬・カラス、可部小4年生で従来にない方式で実施。子供たちは楽しく学んだ

#### 協議事項

・15年度太田川水サミット 11月28日(金)

アステールプラザ2階 新澤参加

・太田川流域鉄道再生基金発表会11月30日(日)  
一歩進めた形で市民へ報告と提案

・亀山小PTA文化講演会 12月6日(土)

作家 西村恭子さんを招き「二つの国の人形たちのメッセージ」桐原豊子さん・新澤

12月10日(水)

#### 報告事項

・平成15年太田川水サミット

新澤、田中(加)、和田木参加

・亀山小PTA文化講演会「二つの国の人形たちのメッセージ」新澤夫妻、和田木参加

・上下町・岡山県新庄村から情報誌等が到着

#### 協議事項

・鉄道再生基金(一口千円)に全面協力を

・レトロバス百年祭の構想

・明神児童公園で百年昔の物を集めて「なんでも鑑定団」形式で賑やかに…

・振り返りの会に会員に呼びかける。来年度の先進地研修地の討議も反省会の中で

## アメリカからの人形を歓迎した 生き証人の出席に大きな拍手 亀山小PTA文化部が講演会

12月6日(土)、亀山小学校で、PTA文化部が主催する文化講演会が開催されました。講師は、日本ペンクラブ会員で作家の西村恭子さん。現在関西を中心に活躍している方です。この講演会に花を添えたのが昭和2年(1927)に可部小学校で「青い目の人形」を歓迎する踊りを踊った桐原豊子さんの参加でした。



青い目の人形を歌う桐原さん

講師の西村恭子さんが50名余りの参加者を前に話された内容は次の通り。アメリカ(特にハワイ)へ日本からの移民が増えるにつれて、危機を感じたアメリカでは移民の排斥運動が活発になってきた。こうした動きを心配したグーリック神父が日本とアメリカの子供たちが「仲良くなってほしい」と願い、親善使節としての人形が贈られてきて、日本からも答礼の日本人形が贈られました。私は日米の人形たちが辿った運命を研究する中で、友好の架け橋の原点が可部にもあることを知りました。その生き証人が今日、ここに参加された桐原豊子さんです。と桐原さんを紹介、会場は大きな拍手で沸きました。

講演会終了後集められた「アンケート」にも桐原さんが出席されたことに対する賛辞とお礼の気持ちがたくさん記入されていたそうです。

## 太田川流域に再度鉄道を 鉄道再生基金で

JRの可部～三段峡の運行が最後の11月30日、中区のまちづくり市民交流プラザでは、鉄道の再生を目指す「太田川流域鉄道再生基金」の創設発表会が開かれました。これは「陳情や署名でも住民の気持ちが伝わらないのなら、自ら基金を出し合って鉄道を再生させよう」との強い意志で、全国でも初のケースです。

会場は、主として加計町の主婦・老人・高校生やマスコミ等約80名の参加で、将来の交通体系や観光・地域交流・高校の存廃まで含めて交錯する不安が次々と訴えられ、「とにかく鉄道を残そう」と熱気に包まれた集会となりました。

最後に「線路さえ残っていれば復活させるチャンスはある。そのエネルギーは“再生基金”だ。一人千円で1億円の達成をめざそう。」と満場一致で決まりました。

再生の成否は、再生基金の期間内達成に絞られた感じでした。1億円は行政折衝や事業者との交渉の強力な武器になると考えられます。

### カラスのスケジュール等

カラスの定例会

12月 18日(忘年会)

1月 7日(水) 21日(水)

カラスのイベント等

3月28日(日) レトロバス100年祭

14:00~17:00 明神児童公園など

## レトロバス百年祭を応援します

平成16年3月28日 午後3時ころ 明神児童公園に百年前の姿を復元したバスが来ます

公園で“何でも鑑定団”をやりましょう。100年前からある我が家の家宝 大募集

・箆笥の奥の写真や蔵で眠っている100年前のバスと同時代の品物や家具その他何でも結構です

“可部旧街道地区まちづくり協議会(仮称)が音頭をとり 可部カラスも精一杯応援します

# 可部カラスの会

第72号 2004.1.15

## 今年は何部の町が変わる

ように思います

可部カラスの会代表 友広大造

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、カラスの会の活動内容も多岐にわたり、特に地元の小、中、高の学校へ出前授業に参加し、メンバーの方は多忙でした。又恒例の大文字祭り、明神祭り、根の谷川の水質調査、クリーン根の谷川、など1年間に58回ものイベントや活動をしました。

印象に残っているのが国土交通省 扇千景大臣から表彰を受けたこと。我々メンバーにはなによりの励みになりました。

今年の大きなイベントは、カラスの会も入っている可部旧街道地区まちづくり協議会の受け入れによる、レトロバス運行100周年で横川から、復元したレトロバスが、3月28日(日)明神広場にお目見えして、広場では自走したり試乗もできます。

可部の人が総出で迎えようではありませんか。また協議会では可部駅西口の駅前広場の構想を提案しております。これからは自分たちの町は、自分たちでつくること、住みやすい町になるし、愛着もわいてきます、是非みなさんも遠慮なしに参加して、将来の夢実現の花を咲かせましょう。

事務局 安佐北区可部五丁目7-16  
Tel(Fax)815-1833(新澤)  
[kabekarasunokai@ybb.ne.jp](mailto:kabekarasunokai@ybb.ne.jp) (新澤)  
<http://www.h6.dion.ne.jp/~karasukb/>

ホームページのアドレスが変わりました  
お気づきの方もいるでしょうが、カラスのホームページアドレス(URL)が変更になりました。これからはがんばります。以前と同様、ときどき覗いてやってください。

## 佐東子ども太田川探検隊の

### 可部の町案内

1月10日、可部カラスの初仕事は「佐東子ども太田川探検隊」を対象に可部の街を案内することでした。

案内役は新澤さんと和田木さん。午前10時可部公民館に元気なちびっこ約20名がやってきました。40分間で昔の可部を映像で案内した後、新澤さんは所用で退席。



町へ出た案内は和田木さん。

裏通りを選んで上市から明神児童公園まで説明して歩きました。

探検隊の皆さんは質問をしながら元気に歩き通しましたが予定を若干オーバーしてしまい、食事の時間が遅れた様子ごめんね探検隊の皆さん。

## 定例会じゃあ こがいな話をしたんよ

12月18日(木) 忘年会の前段

検討事項

・ ホームページのアドレスを変更

<http://www.h6.dion.ne.jp/~karasukb/>

に決定

・ 先進地研修会

豊町(御手洗)を候補とするが、日帰り

りが不能な場合別途検討する

報告事項

・ パワーポイントを駆使した建築情報と

・ 上海旅行記(加納さんの独壇場)

1月14日(水) 参加者 7名

報告事項

・ シロガヤツリ用の竹切り作業 江角参加

・ 年末反省会 いつものとおり賑やかに

RCC「中村克洋のごじテレ」可部取材

新澤・和田木・ウイング 取材協力

・ 世界子ども水フォーラム広島総括会議

実行委解散会 新澤参加

検討事項

・ カラスの仕業 助成金確定まで結論見送りとする。(画像を主体としたものに)

・ レトロバス百年祭受け入れ準備

・ イベント部提案に基づき細部検討して

15日の部会で再度詰める

・ 広島都心活性化推進室ヒアリング

・ 20日夜6時半福祉センター6階小会議室

参加者 友広・新澤・遠原・田中・山口

和木、他

・ レトロバスの車体作成進捗状況

・ ウイングから見学希望、カラスも同調

# 手づくりの暖かさを求めて ちょっと寄ってみたいお店に



お客さんと話す中川さん

「最初は主人の希望で始めたんです。でも今ではハマってしまいました」とにっこり笑う店主の中川さん。

“手づくりスペース なかがわ”は可部旧道で古くから醤油醸造を営む店舗の中に新しく開いた小さな店。

店内の明かりは和紙のシェードに映えて柔らかい感じ。その下に並べられた“熊の人形”

や小間物、“そして大島紬などの着物”もお客さんの来店を待っている様子。

イメージを高めるため、各地を尋ね歩いたとか、中でも上下町のインパクトは強かったそうです。

「旧道を車で通っても、目に付きにくい店なので来客も少ないのかも…」

それでも当日は大分お客さんもあったようで、取材中にも二人の来客、店主も顧客との対応が楽しそうに見えました。通常は午後1時開店 場所は  
可部二丁目 34-22 中川醤油醸 Tel.812-2449

## お勧めの本 (太田川 評伝・渡康磨・川漁師)

太田川の漁師で久地・野冠<sup>のかづき</sup>の渡さんといえご存知の方も多と思われる、渡さんの考え方を忠実に貫き通すと共に、こよなくアユ漁を愛し、情熱を燃やし続ける人となりを描いた書物です。

たくさんの友人の名前も紹介されています。

井上 裕 著 家族社 発行 1,800 円

希望者は 事務局 新澤 (815-1833) まで

# 脚光を浴びる 可部街道界隈のまちづくり

「可部旧街道地区まちづくり協議会」、今回は“中国放送”の取材がありました。目的はレトロバス復元イベントで可部の取り組みを紹介しようというもので、1月9日取材との連絡を受けてそそくさと明神公園へ。インタビューを受けるのは五丁目の梶川さんと葉畑さんです。

梶川さんは「バスが走った100年前の可部の繁盛ぶり」について、「出雲・石見街道の合流点であり、物資の集散地としてずいぶん繁盛したこと、さらに今回のイベントを通して可部の人たちが将来の可部の展望をみんなで考えてほしい」と訴えました。

葉畑さんは父親がバスの運転手であった(久保自動車、可部～深川～八丁堀を走行)ので、よく女性にモテて、バスが通ると女性が手を振ってくれた話。

できることなら復活したバスを運転する姿を写真にして家に飾りたいと熱望しているようです。

最後にレトロバスクッキーで話題となっている共同作業所ウイングの訪問です。

本通りの“夢プラザ”にも出店が叶って、みんな張り切って作業している様子に、スタッフの三島さんも明るい表情です。2階の作業場では真剣な顔つきでクッキーの焼印作業を続ける職員の姿も伺えました。



インタビューの準備、梶川さん



質問に答える葉畑さん

## カラスのスケジュール

カラスの定例会

1月 28日(水)

2月 12日(木) 25日(水)

カラスのイベント等

1月20日 広島市都心活性化推進室ヒアリング(意見を聞きたい) 18:30～

3月28日(日) レトロバス100年祭  
午前9時 横川イベント 横川駅前  
午後3時 可部イベント 明神公園

主催 可部旧街道協議会

イベント 盛沢山

復元なった実物大バスもお目見え

協働作業所ウイングも参加



## もう少し 構想を暖めて 入江さん・友近さんの資料に応えよう

「可部旧街道まちづくり協議会」が活動を始めたとき、可部三丁目の呉服店、入江さんからカラス宛に書面をいただきました。国学者頼 杏平の書などが家にあるので、これを3月28日のレトロバス祝賀行事の日みなさんに公開したらと思う。可部にはいいものを持っている人がまだ多くおられると思うのですが、という内容でした。

さらに先日、カラスの定例会に大林の友近さんから資料の提供がありました。小学校教科書と思われる書籍ですが、明治8年発行となっています。「家に置いとくよりも、興味を持って見ていただくところへ提供した方がいいと思うてねえ」カラスがみんなで見（眺め）ましたが、恥ずかしいことによく読めません。折角のご好意ですがこれを一般公開するとすれば、いろいろな問題点が浮かんできます。

専門知識を持つ人材が足りない、大切なものを預かっても保管に不安、公開をあせって所有者に失礼なことになって…、などなど。もっと可部の町全体に幅を広げて「可部へ行ったら面白いものがある。」というような、観光開発より可部を訪れる人への“おもてなしの心”で可部の新しい名物行事にしたいので、今しばらくご猶予いただくことにしました。入江さん・友近さんできるだけ早い機会での実行をお約束します。

## 葦を刈って 舟で運ぼう 太田川～大芝

突然の話ですが、“葦舟を作って宮島まで行こう”という話がカラスに持ちこまれました。呼びかけに応じて1月25日、袋町の「市民交流プラザ」へ。

ところがスケジュールをみると「レトロバス」の計画と重なることがわかりました。そこでカラスに出来ること、根の谷川流域で葦を刈り、広島まで運ぶことにしました。

早速1月28日の定例会で討議したところ、カラスとして「根の谷川の葦を刈る作業に子どもたちにも参加してもらおうこと」「かつて生活物資の輸送など太田川の舟運で繁盛した可部の町であり、舟で運ぶ」ことが決まりました。そしてカラスの特徴をふんだんに活かした企画が続々と提案されました。

そして行動開始。まず葦の調査で三篠川へ、空振りでした。次いで根の谷川へ、可部高校付近で見つかりました。点検の結果寺山橋付近や上原橋付近にも生えていることがわかりました。

### カラスのスケジュール等

#### カラスの定例会

2月 25日(水)  
3月 10日(水) 24日(水)

#### カラスのイベント等

2月28日(土) 葦の刈り取り  
2月29日(日) 安全祈願と葦を載せて舟くだり  
10時～10時 安全祈願  
11時太田川橋下から舟くだり  
準備 7時児童公園集合  
3月18日(木) 山口県玖珂町社会福祉協議会が来町  
10時～13時 可部町内視察案内  
3月28日(日) レトロバス歓迎イベント  
明神社前児童公園  
余興 盛りだくさん

### 川下りの安全祈願を実施

川下りの安全祈願は三入神社の宮司さんをお願いして次の予定で執り行われます。

2月29日9時～10時

明神公園鉄灯籠前

式典終了後は舟が待つ太田川まで葦をみんなで運ぶこととなります。できるだけ賑やかに運んで舟に載せたいと思います。

船頭さんは久地・野冠<sup>のかずき</sup>の渡 康磨(元太田川漁業組合長)さんで、ほかにカラスのメンバーが3名乗船する予定です。

高瀬堰の「舟通し」水門を開き、約30分かけて堰を通過して、目的地は大芝の太田川放水路。

簡単な引渡しセレモニーを終えて舟はトラックで可部へ。可部へ帰ったら祝杯が待ってます。

# 可部カラスの会

第74号 2004.3.15

## 実現間近のレトロバス

3月28日 踊りと仮装行列で歓迎

いよいよその日が近づいてきました。100年前に可部一横川間を走った復元バスがお目見えする日のことです。振り返ってみると、よくもここまで来たものです。たった1枚の写真で可部と横川の点が線になって、大きな輪になったんです。

一昨年の夏、横川駅前広場の再開発に当たって、明治38年に横川一可部間を走った日本最初の国産バス発祥の地であることを広場のシンボルにすることになり、可部のバス停は何处かという横川からの問合せから始まりました。日本最初の国産バス記念碑を駅前広場に造る、同じ造るのなら実際に動く百年前の当時のバスを復元しようと、いま多くの市民の手で復元中です。

この復元バス最初の旅立ちは3月28日、横川を出発し、太田川河川敷を引っ張られたり、走ったりして可部を目指します。4時半ごろ到着すると、“可部旧街道地区まちづくり協議会”がイベント企画の中心となって、仮装行列や踊りのグループで歓迎パレードをしようと、目下準備におおわらわです。

## すごい量の衣装提供に感謝



衣装の分配と具合を確かめて

“協議会”の皆さんは、広報チラシ“かわらばん”の呼びかけに応じて提供された衣装の多さに驚きと感謝の念で一杯、早速衣装の組み合わせや分配、試着と大忙しの連続で、20名の仮装行列が実現します。

## 明神公園も楽しさいっぱい

午後3時から開会の

明神公園のイベントも面白さ山積みです。テントのコーナーにはうどん・とん汁のサービスがあり、いずれも女性会の応援です。またステージでは踊り、古いお宝探偵団、文教女子高の和太鼓の演奏も予定しています。春のひとときを思いっきり楽しみましょう。

### 定例会じゃあ こがあな話をしたんよ

2月25日(水) 参加者 13名  
報告事項

- レトロバス作成作業応援 2月14日(土)
- 大芝水門潮位調査 2月15日(日)
- まちづくり協議会 2月19日(木)
- 日本改革前線マップデータ 2月20日(金)
- レトロバスイベント協議 2月21日(土)
- 葦舟打ち合わせ 2月21日

#### 協議事項

- 葦舟素材の葦刈り 2月28日(土)
- 具体的計画内容と役割分担を決定
- 葦舟の舟運安全祈願祭 2月29日(日)
- 安全祈願の神事を明神公園で
- 太田川舟下り 三滝橋まで

船頭 渡・竹本 田中・和田木

3月10日(水) 参加者 11名

#### 報告事項

- 「日本改革前線マップ」内閣府公表
- 根の谷川葦刈り実行 2月28日(土)
- 約30名で作業

葦舟安全祈願祭と太田川舟下り無事終了  
2月29日(日)

- NHKレトロバスの取材 3月12日(金)
- 高瀬堰と太田川橋河川敷一時使用の申請
- 高松山へ登山案内標示板取付け完了 遠原
- 28日イベント司会 大本依子さんに依頼

#### 協議事項

- レトロバス組立て現場からNHK中継放送 12日(金)「お元気ですか日本列島」「お好みワイド」市立大学構内で
- 玖珂町社福協来町交流研修 3月18日(木)
- レトロバス試運転(予定) 3月20日(土)

事務局 安佐北区可部五丁目7-16  
Tel(Fax)815-1833(新澤)  
kabekarasunokai@ybb.ne.jp  
http://www.dion.ne.jp/~karasukb/

# 葦舟の葦 根の谷川で採取

横川・可部が陸にロマンを求めるなら、こちらは海に…というわけではありませんが、葦舟プロジェクトから「葦を集めてこしらえた舟で宮島まで航海しよう」との話を具体的に聞いたのは1月25日(日)のことでした。スケジュールを見るとレトロバス復元イベントのスケジュールと重なっています。やむを得ず葦を刈って届けるところまで応援することにしました。



刈った葦をトラックへ

さて、葦がどこにあるのやら…と根の谷川へ。可部高校運動場横や寺山橋付近にありました。足場のよい寺山橋で作業することを決定。地域の各学校にも案内をしました。実施日は2月28日(土)カラスや葦舟の会のメンバーに混じって可部高校生徒諸君の顔も見えます。約30名の集団ができたところで、自然環境や野鳥などへの配慮や注意事項を確認後、作業に入ります。葦を刈ること約2時間。太田川から船で運ぶ葦だけを残してトラックへ。一緒に集めたゴミも引き上げ、翌日処理場へ運んで予定の作業を終えました。

## 舟運の無事を願って 鉄灯籠の前で祈願祭

前夜の激しい雨も小降りとなってきましたが、明神公園には水溜りが。安全祈願に対するカラスの思いに快く応じて、船頭の役を引き受けてくださった渡 康摩さん、舟運の神事は初めてながら、受けてくださった三入神社の末田宮司さん。7時に集合したカラスのメンバーも会場設営の動きに活気が伺えます。

神事開始の9時には雨も上がり、葦舟プロジェクトのメンバーも集合。おごそかな「降神の儀」、宮司の声にかしらを下げて…。舟運の意義をうたい、太田川の舟下りと葦舟の宮島までの



舟をかついで太田川へ

航海安全を祈願した、非常に解りやすい祝詞奏上に一同感激の面持ちでした。

太田川橋の下側で待ち受けた舟に葦を載せて水辺まで運び、岸で手を振る人に送られて舟のスタートです。

約30分で高瀬堰に到着。大勢の人に迎えられて、“舟通し”を通過するため下船。その後土手に行く人たちが手を振ってくれる姿に応えながら“安芸大橋”付近に到着。風の影響などで少し手間取るひとこまもありましたが、どうやら三滝

橋の葦舟づくりの拠点へ到着。

引渡しのセレモニーでは船頭のチーフ渡さんから葦舟チーフの中川さんに葦がしっかり渡されました。

そのあとはささやかな交歓セレモニー。全員が乾杯して葦舟の完成と航海成功を祈念しました。

カラスは車で可部へ。そして久地へ舟を収めて“ご苦労さん会”へと流れました。

## 感動を呼んだ”祝詞”

“このまちづくり市民グループ可部カラスの会の人たち、歴史を探求し、祖先の人たちの創意工夫に思いを馳せて…” 中略 “太田川を出でて瀬戸内海に漕ぎ出して宮島の大鳥居まで…”

“葦舟が見事に完成し美しきその舟の姿を…” なんとわかりやすい祝詞でしょう。三入神社宮司さんの自信作、「難かしかったが、こんな祝詞はどこにもないよ」と満足そうでした。

## 涼しかった生中継

降って湧いたようなNHKの中継放送の3月12日(金)、ところは広島市立大学構内。



生中継の全国版「お元気ですか日本列島」と広島版「お好みワイド」の2本立てなので気が抜けません。昔の衣装で出演する深田、梶川、和田木の3氏は休憩中もそのままの状態、バスを製作する皆さんも緊張の連続でした。

### カラスのスケジュール

カラスの定例会

3月 24日(水)

4月 14日(水) 28日(水)

カラスのイベント等

3月18日(木) 山口県玖珂町社福協 17名来町 10時~13時頃 意見交換と町案内

3月28日(日) レトロバス in 可部イベント

15時~18時 明神公園

バスとパレード、ステージでの催し、うどん・とん汁のサービス、ビデオのぞき、もちろん酒・醤油・クッキー・コーヒーコーナーも

4月4日(日) 興奮冷めやらぬうちに“カラスの花見”(反省会)



# 可部カラスの会

第75号 2004.4.15

事務局 安佐北区可部五丁目 7-16  
Tel(Fax)815-1833(新澤)  
kabekarasunokai@ybb.ne.jp  
http://www.dion.ne.jp/~karasukb/

## 時空を超えて バスは走った

やりました。待ちに待ったバスが可部にやってきました。「皆さ〜ん、バスが可部に到着しました。」レトロバス in 可部の司会を担当する大本さんの声に会場はどっと歓声が上がリ、明神公園に集まっていたお客さんはいっせいに道路に向かいます。



バスは明神公園に到着

串井木材の広場で体勢を整える間も待ちかねて、「なかなか来んねえ。」出迎えの皆さんももどかしそうな様子です。

やがてバスが仮装行列・民謡のメンバーを従えて明神公園にさしかかると、付近は歓声の渦に巻き込まれました。「やったあ」「ありがとう」

の声がかかります。運転席の間宮さんは連日の疲れも吹き飛んだ様子で、満面の笑みが伺えます。横川からバスとともに歩いた皆さんもビックリ。「可部パワーもすごいのお。」との声も聞こえます。

## たった1枚の写真から 力を呼び覚まされて

100年前に横川〜可部を走ったバスをつくろう。横川の皆さんから話を聞いたとき、カラスは躊躇なく“面白い。一緒にやろう”と賛同したものでした。



八木付近の河川敷で自走

「レトロバス復元の会」に入会。会合を進めるたびに、実現に向けての動きを感じることができました。そして昨年2月、明神公園でのレトロバス復元前年祭で“雛形のバス”を迎えた可部の人たちの笑顔を目の当たりにしたとき、私たちの活動にも自信が湧いてきました。

イベント開催までの間に、せっかく動くバスをつくったんだから、是非とも可部まで走らせたい気持ちが沸々と湧いてきました。「車検の無い車は公道を走っちゃあいかん」。などなど、思いがけない問題がおきましたが、横川の皆さんは一つひとつクリアして太田川の河川敷を走ることができました。

## 力を発揮した「まちづくり協議会」

横川では地域の活性化を求めて地元の新しい商品開発が盛んになりましたが、可部でも新しいラベルの酒と醤油が生まれ、豆腐屋さんから特製の豆腐も提供されました。

この力のみなもとは、可部の活性化を願って立ち上がった“可部旧街道地区まちづくり協議会”の皆さんの努力と言えるでしょう。

会報“かわらばん”を発行、活動をアピールし、仮装行列の衣装の提供を呼びかけたところ、まちの人たちから多くの衣装が届けられました。

衣装の区分、試着と、会合を重ねてパレードに花を添えることができました。

また、パレードの交通整理など、縁の下で力を注いでいただいた大勢の皆さんの協力もありました。

なんととっても町全体が力を注いでできあがったイベントは長く町の人の記憶に留まることでしょう。

**レトロバスイベントの  
写真展をやるうやあ**

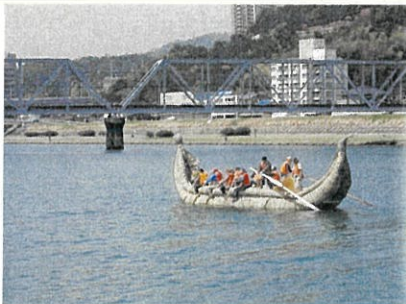
レトロバスのイベントではたくさんの方が自慢の腕をふるって、シャッターをきったことでしょうか。

まちづくり協議会では、皆さんの作品を集めて「写真展」を開きたいと思っています。

協議会のメンバーは、イベントに作業に追われて、写真を撮る余裕は全くありませんでした。

皆さんの力作で街を飾ってみませんか。詳細は別途『かわらばん』等で…。

# あんたらが丘なら わたしらあ 海よ 葦舟は宮島へ



ゆったりと川面に浮かぶみたま号

このところ太田川放水路は忙しい。葦舟用に刈った蘆を積んで太田川を川舟で下り、レトロバスを可部へ送り、完成した葦舟を宮島まで漕いで行くといった具合です。完成した葦舟の名前は“みたま号”。レトロバス同様誕生したばかりです。

可部カラスにとってはレトロバスとのスケジュールが重なり、あまり葦舟の製作にはお役に立っていませんが、葦舟メンバーは作業現場でもメールでも賑やかなことこの上ない、といった具合の進捗状況のようでした。奇しくもレトロバスが可部に向かった日、“みたま号”も完成間際であったようです。

これからのスケジュールは17日、羽衣神社宮司による安全祈願と出航式を済ませて観音親水公園からスタートし、午後3時半には宮島に到着して1泊。翌日は宮島の大鳥居をくぐって回廊へ。そして厳島神社参拝を済ませて帰着の予定となっています。みんないろいろところで頑張っていますね。

## 根の谷川を花で飾ろう 上市・東原の有志が活躍

去年の春からこつこつと始めた花畑の開発。嘗て可部カラスが“花のゾーン”と推奨したエリアが見事な花畑に変身です。

今年の春から上市町内会の有志3名が河川敷を掘り、起こした石で道作り、道に沿ってパティオの計画も…。この動きに東原町内会の有志も参画。

橋の上下での対話は、いつしか花畑での対話になりました。「みんなが喜んでくれりゃあ、それでええ。でも、空き缶を投げる人も無くなったし、タバコの吸殻もありません。」主催者の一人中村さんの自慢です。保育園の園児の散歩コースで、チューリップの歌を唄って通ります。高松山に登山するグループも癒された気分になれるようです。

グループの願いは“秋には花の好きな人が集まって一杯やりながら楽しいひとときを持つこと”だそうで、既に応援の店を出す人も予約済みとか。地域の人々の口コミで種子・球根などの提供者も増えてきて、大きなパラダイスになりそうな気配が感じられます。



| カラスのスケジュール等               |        |
|---------------------------|--------|
| カラスの定例会                   |        |
| 4月                        | 24日(水) |
| 5月 12日(水)                 | 26日(水) |
| カラスのイベント等                 |        |
| * 日程が不確定なため項目のみ           |        |
| ・「可部のまちガイド要請講座」<br>可部公民館  |        |
| ・「郷土学」 可部高校               |        |
| ・「社会人のエチケット・マナー」<br>亀山中学校 |        |
| ・高松山頂上の眺望の改善              |        |
| ・可部の街「花一杯運動」の展開           |        |
| ・お宝発見可部のまちめぐりの企画          |        |

## 高松山の案内をやりました

カラスのイベントとして定着した「高松山植生案内」を4月4日(一般コース)と11日(健脚・一般)で行いました。

4日は雨上がりという条件で、参加者は半減して10名、案内役は梶川・山下さんで、楽しい一日になったようでした。

11日のコースは「登山と史跡見学」と題して、一般向き20名、(担当遠原さん)は上原～土居コースを、健脚向き8名(担当梶川さん)は4コースを走破し、土居コースを下山。メンバーは熊谷氏の土居屋敷跡や菩提所である観音寺跡で、それぞれ井出本さんから説明を受けました。よく調べられて、わかり易い解説に喜んでもらった様子でした。

# 可部カラスの会

第76号 2004.5.15

事務局 安佐北区可部五丁目 7-16  
Tel(Fax)815-1833(新澤)  
kabekarasunokai@ybb.ne.jp  
http://www.dion.ne.jp~karasukb/

## 安佐 地域との深い連携の環を 市民病院の健康まつり

安佐市民病院ではかねてより地域と深い係わり合いを持ちたいと願っておられたようです。このたび、初めての試みとして“健康まつり”を開催されることになりました。可部カラスにも参加してほしい旨の連絡をいただいたので、喜んで参加することにしました。

5月12日(水)の定例会で参加計画を立てました。健康まつりの雰囲気大切にしながら、カラスにできることは、くつろいだ雰囲気の中にも可部の町がわかるような内容にしたいと考えています。

そこで“昔なつかし太田川”の写真パネルと葦舟プロジェクトの写真を展示して、「大正末の可部風景」と太田川の葦で葦舟を造り宮島まで航海した記録ビデオを上映することにしました。

健康まつりは5月22日(土)午前10時から午後2時まで、市民病院屋外駐車場(雨天の場合3階講堂)で開かれます。楽しい一日になりますように。



昔なつかしい太田川のイメージ

### “ご苦労様”葦舟 みたま号”

多くの人たちに感動を与えてくれた葦舟“みたま号”は、4月17日に広島観音マリーナから漕いで宮島へ出発しました。そして翌日“朱塗りの大鳥居”をくぐって巖島神社に参拝し、所期の目的を達成しました。

現在葦舟は、広島観音マリーナに係留していますが、5月22日に陸揚げして解体することになります。カラスもこのプロジェクトに参加して、おかげで楽しい日を過ごすことができました。葦舟の会の皆さん、感動をありがとう。



朱の大鳥居をくぐるみたま号

### 定例会じゃあ こがあな話をしたんよ

4月28日(水) 参加者 8名  
報告事項

・レトロバス in 可部の総括  
観衆は自発参加で近來にないイベント  
毎年継続した行事に：との声もあった  
可部の酒、醤油も頑張った  
交通整理には一考を要する

#### 協議事項

・レトロバスの写真展(協議会主催)  
5月15日(土)～5月25日(火)  
福祉センター ロビー

巷談「かよこ物語」もやろう  
街角ギャラリーも企画したい

・春夏秋冬への応援 4月29日・5月2日  
・安佐市民病院「健康まつり」 5月22日  
パネルの代用にラテイスを利用。

5月12日(水) 参加者 7名  
報告事項

・春夏秋冬の応援 新澤と遠原が対応  
・写真展 かわらばん(臨時号) 発行

#### 協議事項

・写真展 「かよこ物語」をラウンジで  
15日2回 講師は武末 太さん

会場設営 14日午後できるものでやる  
・安佐市民病院「健康まつり」へ参加要請  
来場者の流れを考えて設営しよう  
展示写真「昔懐かし太田川」「葦舟」  
葦舟のビデオも上映

・今後の出前講義の予定  
公民館「可部のまちガイド養成講座」  
可部高校「郷土学」

亀山中「社会人のエチケット・マナー」等

# 皆さんの応募写真を展示

## 可部口

100年前に横川～可部を走ったバスが復元され、可部まで走ってきた記念すべき日平成16年3月28日。バスを一目でも見ようとする地域の皆さん



は明神公園に押し寄せました。「みなさ～ん、ただいまレトロバスが可部に到着しましたあ。」イベント司会者の案内に会場の人たちは一斉

に旧道に急ぎましたが、いったいどれだけの人が集まったのでしょうか、検討がつきませんでした。

運転席の間宮さん、目をキラキラ光らせて元気

一杯でした。連日連夜のバス製作で、いささか疲労もあるようでしたが、可部の歓迎振りに元気を取り戻してくれました。横川の人たちも異口同音に「可部の歓迎はすごい。」と言っていました。

当日多くの人たちが撮られた写真を募集して写真展を開き、あの感動をもう一度よみがえらせてこれからのまちづくりに活かせれば…そんな気持ちから、「可部旧街道地区まちづくり協議会」が写真展を開くことにしたんです。

可部カラスの会はもちろん、可部公民館もこの写真展を応援しています。5月15日(日)から25日(火)まで安佐北区総合福祉センター1階ロビーに展示しています。

## 「すごい、ようやったねえ」お客さんの声から

15日、写真展会場で写真を見たお客さんの反応もいろいろです。知人の顔を見つけて喜ぶ顔、「ええ写真がいっぱい集まったもんじゃねえ」。そんな中で一人のご婦人から質問がありました。「こんな行事いつ開かれたんです?」「3月28日です」「そうですか、ぜんぜん知りませんでした。懐かしい風景がありますねえ」豊平町からこられた方で、終戦まで可部線電車の助手をしておられたとか、写真を見てとても楽しそうな顔が印象的でした。

### カラスのスケジュール

カラスの定例会

5月 26日(水)

6月 9日(水) 23日(水)

カラスの協力応援イベント等

5月15日(土)～25日(火)

安佐北区総合福祉センター1階ロビー

レトロバス in 可部 写真展

レトロバス作成過程・お披露目記録ビデオ  
上映

5月22日(土) 10時～14時

安佐市民病院健康まつりに参加

時期未定

- ・「可部のまちガイド養成講座」  
可部公民館主催事業への協力
- ・可部高校「郷土学」への協力
- ・亀山中「社会人のエチケット・マナー」  
の説明要請

## 巷談「かよこ物語」も応援

この写真展に花を添えてくれたのが、横川で活躍する演劇プロジェクト「ブンメシ」の講師末武太さんです。可部と横川の頭文字から名付けた横川の“かよこ”さんと可部の無骨な武吉とのラブ・ストーリー巷談「かよこ物語」を懸命に熱演してくれました。

純愛の結果は読者の皆さんに想像してもらおうとして、大きく沸きあがった会場において、会場設営担当側にとって気になる講師の動きがありました。アクションの後で、どうもすわり心地がよくない様子。



わかりました。机と椅子の高さに不釣合いがあって、急場しのぎにしつらえた椅子は車輪(コロ)があるものでしたから、動くたびに椅子が後ろへ逃げてしまうんです。

講師さま、どうも申し訳ありませんでした。

# 可部カラスの会

第 77 号 2004.6.15

事務局 安佐北区可部五丁目 7-16  
 Tel(Fax)815-1833(新澤)  
 kabekarasunokai@ybb.ne.jp  
 http://www.dion.ne.jp/~karasukb/

## 秋には実現を お宝発見可部の町巡り

会報 73 号 (平成 16 年 2 月 15 日) で紹介した呉服店、入江さん・大林の友近さんから提案があった“可部のお宝探訪 (仮称)”をどのように具体化してゆけば提案の主旨に伝えられるのかが、先日の定例会で話題になりました。

可部の町には“お宝 (旨いものも含め) がたくさんあると思われるので、町の中にスポットを設定して、来訪者は好みに応じて尋ねて廻り、町の人が説明役を務める。そんなイベントができれば…と考えたわけです。

もちろん具体化するに当たっては、スポットの設定や案内図の作成などなど、可部旧街道地区まちづくり協議会の皆さんとじっくり話し合い、協働で取り組むことが前提となるでしょう。

夏場のカラスはチンチロビッツ参加、先進地 (上下町) 探訪、学校への出前授業、クリーン根の谷川などなど事業が目白押しですが、早めに準備をしておいて、灯火親しむ秋には是非とも実現したいものですね。

## 可部の町の魅力を調査

### レジャーの環境を主体に 余暇プランナーが

NPO 法人 広島県余暇プランナー協会が「余暇生活相談員養成講座」の現場実習のため 3 回に亘って可部を訪れることになりました。

なんと堅苦しそうなお宝探訪とお思いでしょうが、そんなことはなさそうです。目的はレジャーの観点から町の中を歩いてみようというグループのようです。

6 月 27 日・7 月 25 日・8 月 22 日に五つのテーマを設定して調査する予定です。ところが案内すべき当方のスケジュールとバッティング、1 回目の午後だけ時間が空いていたのでその時間だけお手伝いをさせてもらうことにしました。

申し訳ないことですが、調査の採点はきっとよいものが出ることを信じています。

### 定例会じゃあ こがあな話をしたんよ

5 月 26 日 (水) 参加者 8 名  
経過報告事項

- ・レトロバス写真展 (5 月 15 日～25 日)
- 巷談「かよこ物語」・ビデオも上映
- ・安佐市民病院の健康まつり (5 月 22 日) かなりの成果が伺えた

#### 討議事項

- ・チンチロビッツ (7 月 31 日)
- ・笹木医院広場で参加、事前に清掃を
- ・「まちの魅力度評価の手引き」可部の町でも参考にしてみたら…
- ・レトロバス反省会 (6 月 20 日)
- 6 月 9 日 (水) 参加者 9 名

#### 討議検討事項

- ・チンチロビッツ 7 月 31 日 (土)
- ・笹木医院広場でウイングと共同利用
- ・出し物 レトロバスビデオが主体
- ・昨年とほぼ同様の企画
- ・医院広場の清掃、7 月 11 日有志で実施
- ・ラティス追加 5 枚、足回りも要検討
- ・上下の町探訪 8 月 22 日 (日)
- ・まちづくり協議会にも呼びかけを…
- ・広島県余暇プランナー協会の可部探訪
- 7 月 27 日 (日) 可部学区集会所
- 田中 (加)、和田木、遠原担当
- 町案内とカラスの活動報告が中心
- ・亀山中「社会の一員として」6 月 29 日
- 担当 和田木
- ・入江さんの提案 (73 号で) の具体化
- “町のお宝発見可部の町巡り”をまちづくり協議会と共同で検討。

# レトロバスと健康まつりと

## 反省会 2 題

### 寸劇で大賑わい カラス

レトロバス復元の活動は実にロングランでした。2月からバス歓迎のイベント準備、葦舟用の葦を舟で運ぶ行事、イベントは大成功。続いてバス歓迎イベントの写真展、安佐市民病院の健康まつりと、休む暇もありませんでした。

「どうでも一杯飲まんと、ストレスがたまるでえ。」の声に6月5日、ひふみ会館でゲストに安佐市民病院の長崎先生と、中国新聞北広島支局長の串さんと経営同友会の平尾さんの3名を招いての反省会を実施。最初は神妙な顔つきの参加者も、友広監督の「スタート」声で始まった



開会の挨拶では、みんな神妙な顔

“カラスの芝居”は台本無視、アドリブ連発の迷演技に会場は爆笑の連続。ゲストの皆さんにも十分楽しんでもらったようでした

### 食堂満杯の盛況 健康まつり

6月10日、安佐市民病院の「健康まつり反省会」に招かれて参加したカラスのメンバー（新澤・江角・遠原・和田木）も、まつりを応援した、よがんす市・可部南学区女性会・共同作業所ウイング、つちくれの家などと同席しました。

主催者側も応援側も、“初めての行事がしっかりできた”ことへの自信でしょうか、明るい笑みが伺えました。

主催者を代表しての病院長さんの挨拶にも、みんなの協力で行事を無事やりとげた喜びと、今後も開催する自信が湧いたこと、更に「ゆかたまつり」の構想もお持ちの様子が伺えました。

## “根の谷川を知ろう”をテーマに

### カラスのスケジュール

#### カラスの定例会

6月 23日（水）  
7月 14日（水） 28日（水）

#### カラスの協力応援のイベント等

6月20日 18時30分～ 三篠公民館  
レトロバス復元活動の反省会  
6月23日午後（5～6校時）  
「根の谷川を知ろう」可部小4年生  
根の谷川に興味、関心を持たせる動機づけ  
新澤・和田木のほか応援募集中  
6月27日 13時～15時 可部学区集会所  
可部の町案内他（広島県余暇プランナー）  
6月29日 13時～ 亀山中 2年生  
職場のマナーについて  
7月31日 明神祭（チンチロビッツ）  
笹木医院広場で くつろぎをテーマに  
8月22日 上下の町探訪

### 可部小4年生 総合学習

先日可部小学校4年生担任の先生と学習のテーマを中心に話し合いを行いました。

学校の希望は、地域の川に関心を持たせるように、地元の人たちからの話を聞かせてやりたい。そんな気持ちが以下5点のテーマになりました。

現在、新澤さんと和田木さん、江角さんが出演を予定していますが、多くの方に参加をお願いします。

#### テーマ

- 「水」 水の汚れ具合・その原因調べたい・ほかの川との比較・流れの速さ、深さを調べたい・流れはなぜ変わるなど、雨が降ったときの水量など
- 「昔」 どんな川だったのか・どんな生き物がいたか
- 「生き物」 植物（木・草・花）・生物・虫・鳥・螢・魚・カニ・釣りをしたい
- 「環境」 ゴミをなぜ捨てるのか、どんなごみがある？・ゴミ拾いをしたい・きれいになったらなにができる？
- 「その他」 根の谷川はどこから、どこまで・川の石はどうしてできたの？

# 可部カラスの会

第 78 号 2004.7.15

事務局 安佐北区可部五丁目 7-16  
Tel(Fax)815-1833(新澤)  
kabekarasunokai@ybb.ne.jp  
http://www.dion.ne.jp~karasukb/

## がんばっとるよ まちづくり協議会は 今

### 駅西口 もっと考えてみてや

広島市都市計画部の担当者の可部駅西口再開発(3,100 m<sup>2</sup>)の説明に、「トイレがほしい」と要望。国道 54 号線と可部駅構内に挟まれた狭い敷地、1日に約 700 便のバスが乗り入れるほかタクシー・自家用車の乗降場も必要。国交省や警察との折衝などなど、問題山積ですが、今年度内の詳細設計を経て完成は 4~5 年先のこと。“まちづくり協議会”もがんばっています。

### 裏路地を花で埋めよう

町内を花で飾るには、車が突っ走る旧道では無理。それでも“街を花いっぱいになりたい”と願う人たち 6 名は、7 月 12 日福祉センターに集合。旧道の裏どおり(白石酒造~戸田歯科医~上ケ市~品窮寺~可部駅)の候補ルートを調べました。今後、該当地域の皆さんと意見交換して、可部の名所“花の散歩道”づくりの話を進める予定。途中、可部高校生徒さんが挨拶してくれました。

### 余暇プランナー 可部に行く

6 月 27 日(日)に街の面白いところを発見する“余暇プランナー”研修生 8 名を可部に迎えました。

午後 1 時から可部学区集会所で約 1 時間、可部カラスの活動を和田木さんから聞いたあと、田中加代子さんの案内で町探検。グループの調査内容は「面白スポット」に評点をつけて来訪者(ビジター)の興味関心を引き起こそうという企画。7 月 25 日、8 月 22 日も作業が続く予定です

### 可部を大いに語ろう

#### 明神さんのお祭で

7 月 31 日(土)は明神社の祭典チンチロビッツです。可部カラスは“まちづくり協議会”と一緒に、笹木医院の広場で皆さんとこれからの可部のまちについて語り合ってみたくてです。

テーマは「可部駅西口、根の谷川などをこんなにしたかった」。軽く一杯やりながら、それぞれの思いを出し合ってみて賑やかにやってみませんか。

新しい“私たちのまち”を私たちでまとめてみましょう。

### 定例会じゃあ ことがあな話をしたんよ

6月23日(水) 参加者 5名  
経過報告事項

- ・安佐市民病院健康祭の反省会 4名参加
- ・まちづくり協議会 6月17日
- ・可部駅西口のプラン 提示
- ・トイレ設置要望と代案(労務提供)
- ・レトロバスの反省なき反省会(三篠公)
- ・可部小4年生、根の谷川学習会 6月23日
- ・可部小視聴覚教室、4学級合同学習

#### 討議事項

- ・可部南小 根の谷川調査 7月7日(水)
- ・「春夏秋冬」山田さん指導、カラス応援
- ・余暇プランナー 可部の町散歩 6月27日
- ・午後のみ対応可能 和田木・田中・遠原
- ・亀山中総合学習 「職場訪問事前学習」
- ・笹木医院広場清掃 7月11日可能な人
- 7月14日(水) 参加者 7名

#### 経過報告事項

- ・環太田川3周年記念シンポ 新澤・江角
- ・亀山中出前授業「エチケット」和田木
- ・子どもの水辺中国ロック会議 新澤
- ・可部小・可部南小 出前授業 根の谷川の水生生物調査

#### 討議事項

- ・高松山景観保全作業 7月17日(日)
- 9時 もりメイト倶楽部からも応援あり
- ・明神社夏祭 7月31日 午後2時集合
- ・笹木医院前広場 可部駅西口開発を語る
- ・先進地上下町探訪 8月22日(日)
- ・申込みは何人でも可 賑やかに
- ・可部よがらす祭り 8月28日(土)
- ・ザ・ビッグ可部店屋上駐車場 3時から

# 根の谷川は 本当に危険なの？

先日、可部小学校の児童たちと根の谷川について学ぶ機会がありました。子どもたちが、「根の谷川は汚い」「根の谷川は危険だ」と目をそろえて言うことに驚きました。そこで根の谷川をいろんな角度から見て、実際はどうなのか。私たちは子どもと根の谷川が、今後どのようにかかわっていけばいいのか考えてみようと思立ちました。

## 川には大腸菌がうようよ？

「根の谷川は大腸菌がいっぱい」だから入られない、「魚は食べられない」という声。殆どの子どもがそのように考えているらしいんです。ほんとうにそうなんですか。そこで太田川河川事務所を尋ねてみました。

「過去のデータもあるし、現在の根の谷川にどれくらいの大腸菌がいるのか。川に親しんでもらうためのデータ等を…」と丁寧な対応をしてもらいました。

「採取方法によれば、大腸菌は我が家の井戸水から採取されたことがある…」とは江角さん。「カラスも水質調査の項目に大腸菌を加えたら…（遠原さん）」と積極的なご意見です。

＜大腸菌＝病原性大腸菌 O157＞というような先入観が広く私達のどこかに潜んでいるような気がします。

そして、子どもたちと川の距離を縮める方策については保護者の意識を変えることが必要という遠原さん。ちょうど児童の両親が生まれ育った頃が高度経済成長期で、環境破壊が大きかったことが子どもたちに影響を与えているのではないかと（新沢さんも同意見）。先生方も悩み多いことでしょう。



可部南小の水生物調査



可部小の根の谷川観察

## 少しでも川に親しむ方策を

最後に「子どもと川を近づけるための方策」についての意見です。

可部・可部南小の取り組みは意義があった。子どもは嬉々として川に親しんでいた。地域を挙げて「川まつりの日」の検討を。（遠原さん）

川は楽しいところ。危険回避の方法を教えて、そのあとで水質やゴミのことなどを教えて行けばよい。（江角さん）

川のところどころに、子どもたちが安全で安心して水遊びが出来る場所をつくれればよい。もちろん関係機関や団体等との合意や協力が前提。（新沢さん）

7月7日、12日と根の谷川の学習に臨んだ可部小・可部南小学校の子どもたちの表情は、いずれも水に触れて“楽しそう”だったことをお伝えします。

### カラスのスケジュール等

#### カラスの定例会

7月 28日（水）

8月 11日（水） 25日（水）

#### カラスのイベント等

7月 31日（土）明神社 チンチロビッツ  
笹木医院広場 午後2時から準備

8月 22日（日）先進地探訪 上下町  
まちづくり協議会も同行

8月 28日（土）よがんす祭り  
ザ・ビッグ屋上駐車場 15時～21時

## さあ行こう 上下町視察へ

まちづくり協議会・カラスの皆さ～ん

大型バスを用意しています

先着順に受け付けます

但し 食事代・土産代のみ 自己負担ですよ

申し込みは 新 澤 和田木 まで  
815-1833 814-2488



# 可部カラスの会

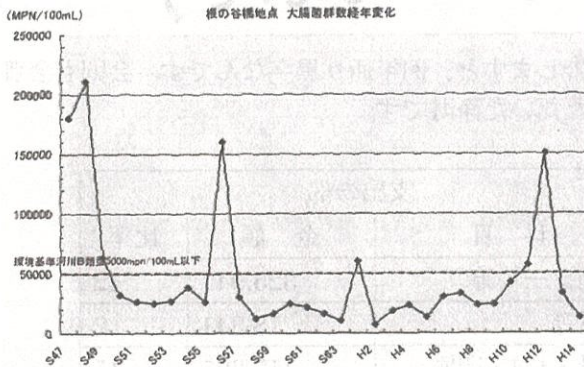
第79号 2004.8.15

事務局 安佐北区可部五丁目 7-16  
 Tel(Fax)815-1833(新澤)  
[kabekarasu@ma8.seikyoku.ne.jp](mailto:kabekarasu@ma8.seikyoku.ne.jp)(田中)  
<http://www.h6.dion.ne.jp/~karasukb/>

## 大腸菌は大巾に減ったけど 太田川河川事務所のデータから

広島市の秋葉市長さんが「広島市内の川で泳がれないだろうか」と尋ねられたとき、担当者から「川底に堆積したヘドロの問題を除けば、あとは大腸菌のみクリアできれば水泳は可能」との回答があったとか。環境に関心の深い市長さんのことですから、あり得る話です。

先日、可部小の出前授業「根の谷川の水しらべ」の中で「根の谷川は大腸菌が多いので入れない、魚も食べられない」という子が殆どでした。そこで太田川河川事務所可部出張所に尋ねたところ、ご好意により、昭和47年から平成14年度までの根の谷川の「大腸菌経年変化」データを提供していただきました。



根の谷橋地点 大腸菌群数経年変化  
 調査場所=根の谷橋(中島-高揚をつなぐ橋)  
 調査期間 昭和47年~平成14年  
 数値=100m<sup>1</sup>中の大腸菌数

大腸菌群数の最高は昭和48年(210,000)、最低は平成2年(7,000)となっていますが、環境基準河川B類型では大腸菌群は50,000以下と定められており、近年では平成11~12年度が基準値を上回るのみです。根の谷川も大腸菌の数をあまり心配しないで子どもたちが川遊びできる日が近いのではないのでしょうか…。

### こどもたちを川で遊ばせたい

出前授業で学校を尋ねるたびにそんな思いが募ります。たとえ泳ぐことは無理でも、川の水につかって自由に遊べる場所をつくりたいと思います。たとえば根の谷川と南原川合流点とか寺山橋付近、新川橋下流とか。

最近、根の谷川でアユ漁を楽しむ姿をよく見かけますが、捕れたアユは食膳に上るので、子どもたちが川で遊ぶこともできるような気がします。

可部カラスの会が毎年実施している「根の谷川の水質調査」の項目に大腸菌の調査を加えてはという声もあり、検討してみたいところです。子供たちが元気に遊ばれる環境づくりにも力を注ぎたいと考えます。

### 定例会じゃあ こがぁな話をしたんよ

7月28日(水) 参加者 11名  
 経過報告事項

- 高松山眺望の改善 7月17日(土) もりメイトの応援で実施
- 太田川河川事務所可部出張所から「根の谷川水質データ」を提示された。大腸菌群はちよつと気になる程度。

- 水質調査に大腸菌の調査も必要か?
- 可部公民館のアカデミー事業「ボランティア可部の町案内」で町案内の協力要請
- 広島市「市民とのパートナーシップ講座」のグループワークショップに協力要請

検討事項  
 明神祭の構想と担当ごとの仕事を確認

8月11日(水) 参加者 8名  
 経過報告事項

- 明神社夏祭り 7月31日(土)

- 台風直下の中で実施。参加者は少数、掲示板としてラティスの効果を確認
- 水質データ

- 国交省太田川河川事務所の調査結果の活用方法と子供へのアプローチ検討
- 大腸菌群の調査が可能か
- 子供の水遊びができる場所を探そう

検討事項

根の谷川は水質データ上では良くなりつつあるが、大腸菌の調査はそう簡単ではない。調査の方法を模索。

保護者は根の谷川の立看板を気にして子どもへの入水に消極的。寺山にプレッパークをつくらうかと協働で働きかけを

# 風雨が通り抜けた 明神社祭り

「台風は避けられんでえ」「うん、それでも一応お客さんが来てもええように、準備だけはやっとうやあ」と、予定した計画設営図を基本に作業は着々と進みます。当日の配置は、映像を中心にしたセクションと可部駅西口開発コンセプトを語り合う場所を設けることになっています。

“ともにかたろう かべのまち” 歓迎の横幕を飾りつけた頃から、風も雨も横なぐりをかけてきます。カラスの群れは泰然自若、自らビールで喉を潤しつつお客様をお待ちします。共同作業所ウイングさんもテントの中で雨を避けながら頑張っています。

そのうち大勢ではありませんが来客も増えてきて、歓談するうちに氣勢もあがるようになり、いつもの来客数ではありませんが、ゆっくりお話のできたチンチロピッツでした。



## お陰きまで カラスはカラスのままです

皆さんのお陰です。平成 15 年度カラスの財政状況を報告しますと、例年通り黒字なんです。会則も会費もないグループですから、活動資金の殆どが皆さんからいただいた浄財です。

| 収入の部 |         |     | 支出の部      |         |     |
|------|---------|-----|-----------|---------|-----|
| 科目   | 金額      | 比率  | 科目        | 金額      | 比率  |
| 活動収入 | 377,790 | 45  | 活動ツール等    | 325,947 | 42  |
| 出前謝礼 | 123,523 | 38  | 器具等       | 18,341  | 2   |
| カンパ等 | 123,215 | 15  | 用紙・インク・印刷 | 117,325 | 15  |
| 協賛金  | 15,000  | 2   | 諸経費       | 219,902 | 28  |
| 雑収入  | 9       | 0   | 郵送費       | 88,835  | 12  |
|      |         |     | 雑費        | 4,893   | 1   |
| 合計   | 844,537 | 100 | 合計        | 775,243 | 100 |

### カラスのスケジュール等

#### カラスの定例会

8月 25日 (水)

9月 8日 (水) 22日 (水)

#### カラスのイベント等

8月 22日 (日) 先進地探訪 上下町  
7:30 安佐北区役所 集合  
8:00 出発

8月 28日 (土) よがんす祭 12:00～21:00  
ザ・ビッグ可部店 屋上駐車場  
カラスも出店

9月 26日 (日) クリーン根の谷川  
8:30～10:00 予定  
高松橋東詰 広場集合

## 各方面から応援要請

可部カラスの会に対して各方面から応援・協力をお願いしたいとの依頼がきております。今のところ時期は確定しておりませんが、次のような要請・依頼が事務局にきています。

- \* 広島市研修センター「市民とパートナーシップ講座」で4～5のワークショップグループにカラスのメンバーが各グループに参加し、経験・意見を述べる
- \* 可部公民館アカデミー事業「ボランティア可部の町案内」に対する協力要請

# 可部カラスの会

第80号 2004.9.15

## 子どもの遊び場に・・・

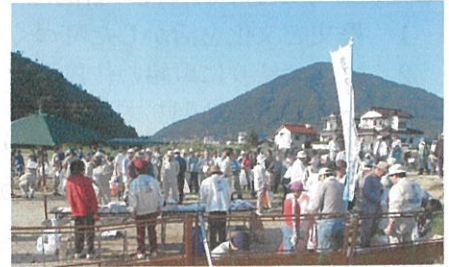
### クリーン根の谷川の目標

可部カラスの会が取組んできた「クリーン根の谷川」の時期が近づいてきました。見出しのように新たな目標を掲げました。これは、子どもたちが安心して水に親しめる根の谷川にしたい思いからです。

平成9年、可部カラスが立ち上がった年から数えて8年間、皆さんと共に根の谷川の清掃に取り組むことができました。

今年も次の要領で根の谷川の清掃を行います。地域の皆さんと一緒に、きれいで、子どもたちが安心して遊べる川を目指しましょう。

主催 まちづくり市民グループ 「可部カラスの会」



昨年の受付は大繁盛



- |          |                          |
|----------|--------------------------|
| 共催       | 可部学区・可部南学区 公衆衛生推進協議会     |
| 日時       | 9月26日(日) 午前8時～10時        |
| 集合・解散場所  | ①可部高校グラウンド南の広場<br>②上原橋東詰 |
| 用意するもの   | 帽子、長袖シャツ、長ズボン、動きやすい服装    |
| ゴミの集積・分別 | 集合場所に同じ                  |
| 主催者側での準備 | 手袋、ゴミの収集袋、飲み物、「一日傷害保険」   |

## 緊急提案「千代の松」の下草を刈ろう

提案ですが、10月3日(日)8:30～11:00 広島市指定天然記念物「千代の松」の下草刈りボランティアをしませんか。所有者辻井さんの了解を頂きました。協力いただける方は事務局 815-1833 新澤まで

### 定例会じゃあ こがあな話をしたんよ

|   |  |  |
|---|--|--|
| <p>他の出前とバッティングのないように</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・可部公民館まつり11月6～7(土・日) テーマ「出会い・ふれあい・学びあい」</li> <li>・中学校から出前授業の依頼あり</li> <li>・三入・亀山何れも対応。詳細は別途</li> <li>・可部公民館まつり11月6～7(土・日) テーマ「出会い・ふれあい・学びあい」</li> </ul> | <p>経過報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上下町探訪 8月22日 36名参加</li> <li>・上下町の魅力度調査 31枚回収</li> <li>・分析の大綱は裏面</li> </ul> <p>検討事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・可部よがんす祭 8月28日(土)</li> <li>・テーマの設定(可部駅西口)を巡って白熱の論議</li> <li>・「可部駅バス停」を主題にして展示する。</li> <li>・クリーン根の谷川・高松山樹木案内・お宝発見可部の町巡りの話し合いも</li> </ul> <p>9月8日(水) 参加者 6名</p> <p>経過報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・可部よがんす祭 8月28日</li> <li>・テーマ「可部駅バス停が大きく変わる」</li> <li>・可部小4年生簡賀で水辺教室 9月3日 新澤 同行ビデオ記録</li> </ul> <p>検討事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クリーン根の谷川 9月26日(日)</li> <li>・高松山樹木間伐作業(もりメイト応援)</li> <li>・交流会は下山して実施希望の声。</li> <li>・秋の高松山樹木案内 10月24日(日)</li> <li>・樹木観察班・史跡見学各班 20名</li> <li>・お宝発見可部の町巡り 11月3日(祝)</li> <li>・早急にお宝候補を絞って結論を</li> </ul> | <p>8月25日(水) 参加者</p> <p>経過報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上下町探訪 8月22日 36名参加</li> <li>・上下町の魅力度調査 31枚回収</li> <li>・分析の大綱は裏面</li> </ul> <p>検討事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・可部よがんす祭 8月28日(土)</li> <li>・テーマの設定(可部駅西口)を巡って白熱の論議</li> <li>・「可部駅バス停」を主題にして展示する。</li> <li>・クリーン根の谷川・高松山樹木案内・お宝発見可部の町巡りの話し合いも</li> </ul> <p>9月8日(水) 参加者 6名</p> <p>経過報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・可部よがんす祭 8月28日</li> <li>・テーマ「可部駅バス停が大きく変わる」</li> <li>・可部小4年生簡賀で水辺教室 9月3日 新澤 同行ビデオ記録</li> </ul> <p>検討事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クリーン根の谷川 9月26日(日)</li> <li>・高松山樹木間伐作業(もりメイト応援)</li> <li>・交流会は下山して実施希望の声。</li> <li>・秋の高松山樹木案内 10月24日(日)</li> <li>・樹木観察班・史跡見学各班 20名</li> <li>・お宝発見可部の町巡り 11月3日(祝)</li> <li>・早急にお宝候補を絞って結論を</li> </ul> |
|---|--|--|

# 先進地探訪 再び上下町へ

## 上下の魅力度も調査

8月22日(日)可部カラスの会員と可部夢街道まちづくりの会、広島市内の有志36名を載せたバスは、府中市上下町を目指して安佐北区役所前を出発しました。今年の上下町訪問の目的は3つありました。

- 1 歴史と文化を活かした町づくりの現状とこれからの方向。
- 2 まちづくりに取り組む住民活動、住民意識、意欲などどこから生まれたのか。
- 3 上下の町を訪問して、まちのどこに魅力を感じるか。(国土交通省のアンケート方式で調査)

午前中は全員揃って松井さんに町案内をしてもらいました。飄々とした松井さんの説明は、至るところで笑いが生じます。自動車も見学者の邪魔にならないように、ゆっくりと通り抜けてゆきます。

こうして約1時間半、午前中の見学は終了。午後は各自がお好みの場所を訪ねての自由行動です。



ユーモアたっぷりの松井さん

## 上下町のここが魅力 参加者のアンケート



静かな佇まいが上下町の魅力

午後の自由時間は、上下の町の魅力度を探るための自由散策です。町の各所をじっくり見て、アンケート用紙に記入してもらいます。

カラスが初めて今回取り組んだ、国土交通省中国整備局が作成した「まちの魅力度評価表」による試行実施です。

31名の調査票を回収した結果、その一部の項目を抽出したのが、以下の表です。初めての取り組みのため、事務局にも分析方法などに戸惑いがあります、請うご容赦。

## 顔となる通り 町並みの保存 魅力度アンケート結果

| カラスのスケジュール等      |                     |
|------------------|---------------------|
| カラスの定例会          |                     |
| 9月               | 22日(水)              |
| 10月              | 13日(水) 27日(水)       |
| カラスのイベント等        |                     |
| クリーン根の谷川         | 9月26日(日) 8:00~10:00 |
| 高松橋下流または上原橋東詰に集合 |                     |
| 高松山頂上樹木間伐        | 9月26日(日)            |
| もりメイト倶楽部と協働      |                     |
| 午後カラスとの交流会予定     |                     |
| 三入・亀山中           | 出前授業あり              |
| 日程は別途            |                     |
| 千代の松の下草刈り        | 10月3日(日)            |
| お宝発見可部の町巡り       | 11月3日(祝)            |
| 可部公民館まつり         | 11月6~7日             |

|     |          |     |
|-----|----------|-----|
| きれい | 顔となる通り   | 4.2 |
|     | 空気や水が    | 4.0 |
|     | 優れた景観    | 3.9 |
| 活気  | 市民のエネルギー | 3.1 |
|     | 賑わいのある町  | 2.9 |
|     | 人の活気がある  | 2.6 |
| 便利  | 駐車場がある   | 3.5 |
|     | 案内がある    | 3.5 |
|     | 駐輪場がある   | 3.4 |
| 憩い  | 町並みの保存   | 4.3 |
|     | 自然の豊かさ   | 3.7 |
|     | 観光資源     | 3.7 |

数字の見方 5.そう思う 4.ややそう思う 3.ふつう  
(評価の程度) 2.ややそう思わない 1.そう思わない